

平成30年度

地域づくり交付金 事例集

河辺地域



秋田市

河辺市民サービスセンター

地域づくり交付金は、地域の課題解決や地域力向上などに取り組む公益的な活動を支援する制度です。

平成23年度より平成30年度までの間に約500を超える事業に活用されています。

皆様の地域でも、この事例集を参考にして、皆様の意欲やアイデアを活かし、住みよい地域づくりの活動に、地域づくり交付金を活用してみたいかがですか。

ご相談をお待ちしております。

防災訓練並びに黒沼ふるさと祭り

申請団体	黒沼協和会
事業概要	災害を想定した避難訓練、防災知識の習得と夏祭りを通し、世代間の交流と地域の活性化を目指す。
交付確定額	300,000 円



★ コメント ★

※ 新規

防災訓練は、毎年6月に避難訓練を実施している。炊き出しを行い、また、防災知識を習得するため、関係機関から講師を招き講習会を開催したことで地域住民の防災意識の向上が図られ好評を得た。ふるさと祭りは復活させて5年目、子供会や婦人会などの趣向を凝らした演芸が地域の一大イベントとなり、住民の明日への活力となっている。

岩見三内の夏祭り

申請団体	岩見三内夜店実行委員会
事業概要	岩見三内の夏祭りとして夜店を復活させ、地区の融和と世代間交流を図る。
交付確定額	252,000 円



★ コメント ★

※ 継続4年目

今回で8回目の開催となり、「夜店」のネーミングで復活させたことにより、地域の子供からお年寄りまで「岩見三内の夏祭り」＝「夜店」として大変喜ばれる岩見三内地区のイベントとして定着している。

子供と高齢者による世代間交流事業

申請団体	上和田町内会
事業概要	公民館祭りを主要行事と捉え、ふれあい運動会や各交流事業をとおして世代間交流を図る。
交付確定額	395,000 円



★ コメント ★

※ 継続2年目

公民館祭りや交流会事業の参加者は、新たな世帯の方や久しい顔の方が集い、住民相互の連携と近隣の情報交換の場となっている。地域防災においては、地域内の緊急連絡網を活用した避難誘導や要支援者の救護訓練のほか、炊き出し訓練等を行うことで更に地域力を高め、防災意識の向上を図った。

河辺地区地域交流・農業体験事業

申請団体	河辺地域交流会 「縁 ゆかり」
事業概要	河辺の豊かさを活かした文化・経済活動を行い次世代に継承して行く。
交付確定額	480,000 円



★ コメント ★

※ 継続2年目

地域の方々の知恵や経験をもとに世代間の交流を行うことで、地域の伝統文化を継承するとともに、農作業を体験し収穫の喜びを味わい更に、河辺ならではの特産品の開発を目指す。また、地元の大生との交流から生きた英語を学び、活気ある地域づくりを推し進める。

防災訓練と安らぎの地域づくり事業

申請団体	秋田市柳町町内会
事業概要	避難訓練を通して、一層、町内の融和を図り、安全安心で安らぎのあるまちづくりを行う。
交付確定額	496,000 円



★ コメント ★

※ 継続3年目

地域の学校関係を含んだ子供から町内の高齢者まで、幅広い年代の方々が避難訓練に参加したことで、防災意識の向上と町内自主防災隊の防災力の向上が図られた。また、町内各屋々の軒先に提灯をつり下げ、お盆に一齐に線香花火を焚いたことで、帰省した人達と顔見せや語らいの場が生まれ、広く世代間の交流ができた。

市民生活部 河辺市民サービスセンター

〒019-2692 秋田市河辺和田字北条ヶ崎38-2

TEL: 882-5421 FAX: 882-3051

E-mail: ro-sckb@city.akita.akita.lg.jp

事例集はホームページでご覧いただけます。

秋田市 地域づくり交付金

検索 